



介護費用

両親の介護費用で
知っておくべき現実

親の介護費用で知っておくべきこと

親の介護に不安なのに、9割の人が準備をしていない



Press release

2019年8月9日

アクサ生命、『介護に関する親と子の意識調査2019』を発表

-親の介護で最も不安に思うことは「介護費用」。「介護費用を用意している」は1割

-「介護と就労の両立期間」父親の介護で14年、母親の介護で12年

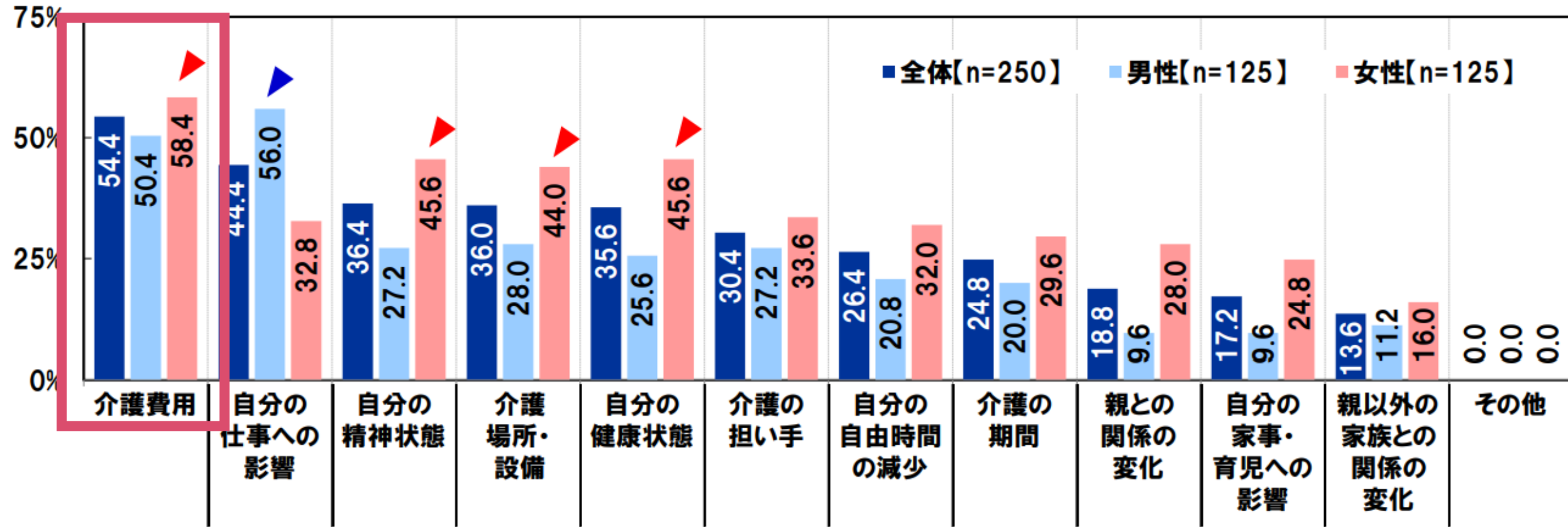
アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵聖司)は、親を持つ40歳~59歳の男女と、子どもがいて介護された経験がない60歳~79歳の男女を対象に、『介護に関する親と子の意識調査2019』をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルを集計した結果をまとめました。

親の介護問題は他人事ではない

自分だけでなく、親の介護費用に不安がある方が50%以上

◆親の介護について不安に思うこと〔複数回答形式〕

対象:40代・50代で、親の介護経験がない人

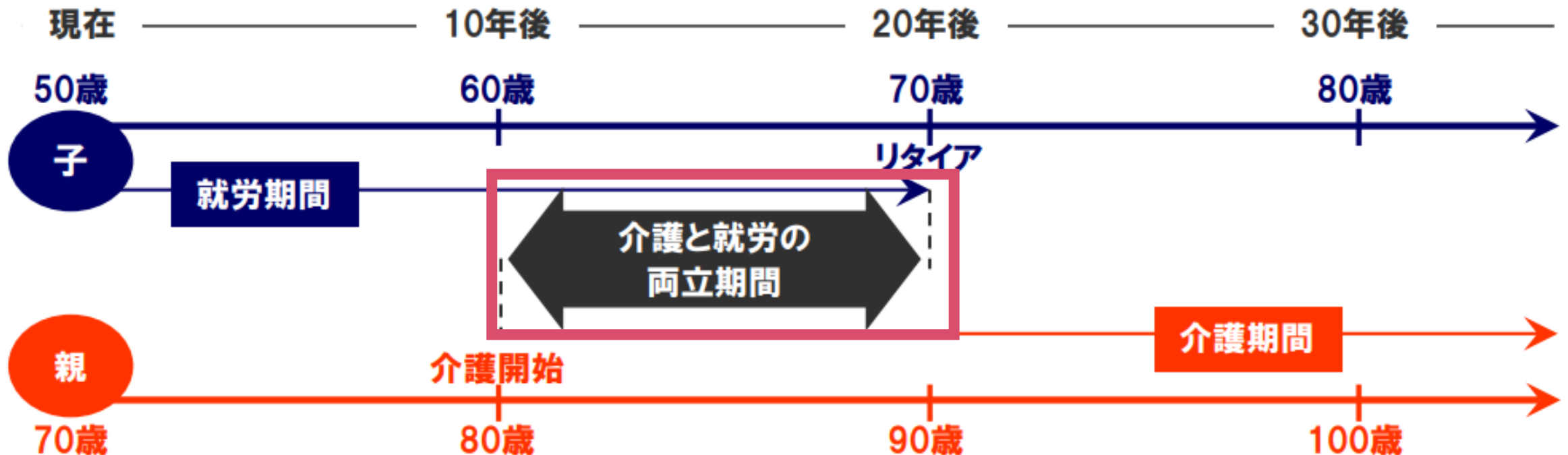


親の介護期間と就労の期間は重なる

- ・就労期間の長期化
- ・介護期間の長期化

両立する方法を検討する必要がある

【イメージ】介護と就労の両立期間（子50歳、親70歳で、子が70歳でリタイア、親が80歳から介護開始の場合）



親の介護を「自分事」としてイメージするのが大事

◆親の介護に対する準備について大切だと思う介護経験者の割合 [各単一回答形式]

対象:40代・50代で、親の介護経験がある人【n=250】

※『大切だと思う(計)』(「非常に」と「まあ」の合計)の割合を表示

◆親の介護に対する準備をしている介護未経験者の割合 [各単一回答形式]

対象:40代・50代で、親の介護経験がない人【n=250】

※「している」の割合を表示

